

Let's enjoy アウトドア

キャンプをはじめよう! 秋キャンプがオススメ! 5つの理由



キャンプ文化が根付いた欧米では、キャンプは季節に限らず休日を利用して楽しむもの。キャンプはいつ行ってもいいわけですが、四季の変化が大きい日本では秋がベストシーズンといえます。

① 虫が少ない

蚊やアブ、ブヨなど血を吸う虫を気にしなければならないのはかなりのストレス。特に子供を連れてのキャンプでは、虫ばかり気にして大変だったという人も多いのでは!? 一般的に蚊やアブなどは、気温が20℃前後に達すると活動が活発になります。最高気温が20℃を下回る秋は快適にキャンプを満喫できます。場所によっても差があるので、蚊などを気にする目安は気温20℃と覚えておきましょう。



しかし、秋でも気をつける必要があるのがスズメバチ。種類によって活動のピークは異なりますが、7月から10月までが注意期間。スズメバチは黒いものに反応するので、黒い服や帽子は避け、なるべく色の薄いものを身につけるようにしましょう。もし巣を見つけたら、騒がず静かに離れましょう。

② 人が少ない

意外と大切なポイントがこれ! 夏にキャンプをする風潮の強い日本では、春や秋はぐっと混雑が緩和されます。シーズンによって料金変動のあるキャンプ場なら、夏以外の季節は安く設定されていることもあります。



③ 涼しく快適に過ごせる

よほど標高の高いキャンプ場でない限り、夏は山中でも暑く、熱中症の危険性もあります。秋なら日中は快適にアウトドアを楽しむことができます。



④ 美しい紅葉を堪能できる

キャンプは通年でできますが、秋のキャンプで楽しめることといえば紅葉! 多くのキャンプ場は緑豊かな場所にあり、紅葉が美しいキャンプ場が多いです。



紅葉するのは冬季に葉を落とす落葉広葉樹。モミジはもちろん、ブナやカエデ、コナラ、カラマツなど。紅葉を堪能したい人は、落葉広葉樹の多いキャンプ場を探してみましょう。紅葉は短い期間で終わってしまうので、例年の見頃をチェックするのもお忘れなく!

⑤ 焚き火を心地良く楽しむことができる

焚き火こそキャンプの醍醐味といっても過言ではありません。ゆらゆらと形を変える炎には不思議な魅力があって、人は自然と焚き火の周りに集まるもの。火にそっと手をかざしてその温もりを楽しめる秋は、焚き火をもっとも愛せる季節なのです。



焚き火を囲んでおしゃべりをし、お酒を飲む。ゆらめく炎は見ていて飽きることがありませんし、パチパチと薪の爆ぜる音はなんと心地良い。日常から離れ、自然の中にいることを実感できるぜいたくな時間を演出してくれます。さらに秋は実りの季節。地元産のおいしい野菜を手に入れて、焚き火で焼いて食べるのも秋キャンプの楽しみ方です。